

大室山 小室山

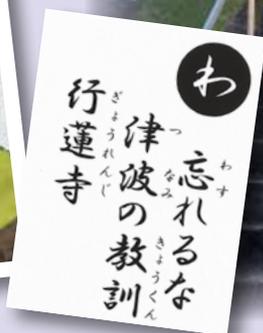
# 市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

## 「伊東かるた」とめぐる

### “伊東の魅力”再発見



## 行運寺

この地に於いて記録に残る自然災害で最も大きなものは「元禄津波地震」であり、この津波供養塔は宇佐美の行運寺、玖須美の佛現寺、川奈の恵鏡院にあり、歴史資料として「市指定文化財」になっています。

〜伊東かるた解説書より〜

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

### 主な内容

- 9月定例会の概要……………【P. 2】
- 一般質問……………【P. 7】
- 決算大綱質疑……………【P. 5】
- 常任委員会だより……………【P. 11】



## 令和4年9月定例会

令和3年度一般会計・特別会計・企業会計決算を含む  
21件の議案等を審議、決定

9月定例会を8月30日から9月28日までの30日間の会期で開会しました

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第6号	令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)及び公営企業会計の資金不足比率の報告	市長	(報告・ 質疑のみ)
市報第7号	市の義務に属する損害賠償の額の決定に係る専決処分報告について	市職員による粗大ごみの回収時、誤って回収依頼者の建物の一部を破損させ損害を与えたため損害賠償を行ったもので、令和4年8月24日に専決処分を行ったことの報告	市長	(報告・ 質疑のみ)
市議第13号	伊東市個人情報の保護に関する法律施行条例	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により改正された個人情報の保護に関する法律が令和5年4月1日から施行されることに伴い、同法において条例で定めることとされている事項を制定するもの	市長	全会一致 で可決
市議第14号 👉 討論	伊東市個人情報保護条例を廃止する等の条例	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、改正後の個人情報保護法と同一の趣旨である伊東市個人情報保護条例を廃止するとともに、伊東市情報公開条例及び伊東市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例を改正するもの	市長	賛成多数 で可決
市議第15号	伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	人事院の「国家公務員の育児休業等に関する法律の改正についての意見の申出」に鑑み、職員の妊娠、出産、育児等と仕事の両立支援のため、非常勤職員の育児休業の対象期間の上限の要件について、夫婦交替での取得や、特別の事情がある場合の柔軟な取得を可能とするための規定等を整備するもの	市長	全会一致 で可決
市議第16号	伊東市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等が一部改正されたことに伴い、伊東市民病院の特定初診料を5,000円から7,000円に、特定再診料を2,500円から3,000円に改定するもの	市長	賛成多数 で可決
市議第17号	令和3年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和3年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金9,714万4,750円の全てを資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致 で可決
市議第18号	令和4年度伊東市一般会計補正予算(第5号)	移住就業支援事業補助金をはじめとする各種事業経費の追加、及び、障害者自立支援事業等における令和3年度事業費確定に伴う国県支出返還金等の追加、並びに、財政調整基金への積立てなど、9億8,836万4,000円の追加	市長	全会一致 で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第19号	令和4年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第1号)	選手への賞金や手当の増額、競輪事業基金等への積立金の増額及び一般会計への繰出しを主なものとし、5億6,162万3,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第20号 	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	マイナンバーカードの普及促進及び窓口業務の効率化を図るため、コンビニ等での住民票や各種証明書の取得に関する手数料を減額するもの	市長	賛成多数で可決
市議第21号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した(感染が疑われる場合を含む。)国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援措置に合わせて適用期間を令和4年12月31日まで延長するもの	市長	全会一致で可決
市認第5号～市認第14号 	令和3年度伊東市一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算6件、企業会計決算3件	地方自治法第96条第1項第3号に基づく各会計の令和3年度歳入歳出決算の認定	市長	下表をご覧ください

市長による決算概要説明(要旨)

予算編成の背景

令和三年度一般会計当初予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい経済状況が続いている中、前年度を〇・八%下回る二七二億七〇〇〇万円とした。

その後、住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業などの新型コロナウイルス感染症対策のほか、地方交付税の増額や特別会計に対する繰出金の増額など八回にわたる補正を行い、最終予算規模を三二九億五三三四万七〇〇〇円とした。

一般会計決算概要

一般会計歳入決算額は対前年度比一〇・二%の減、歳出決算額は対前年度比一一・九%の減となった。歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を三四・〇%上回る九億七四万六〇〇〇円であった。

令和3年度 一般会計・特別会計・企業会計決算  
◎全会一致で認定

一般会計決算

歳入	歳出	審議結果
323億5,163万円	309億9,455万円	◎

特別会計決算

会計	歳入	歳出	審議結果
競輪事業	283億1,029万円	276億6,413万円	◎
国民健康保険事業	88億9,844万円	86億3,241万円	◎
土地取得	2,597万円	2,590万円	◎
豊園事業	3,622万円	3,606万円	◎
介護保険事業	88億1,402万円	86億2,466万円	◎
後期高齢者医療	22億1,451万円	21億8,935万円	◎
合計	482億9,945万円	471億7,251万円	◎

公営企業会計決算

区分	収入	支出	審議結果	
病院事業	収益的収支	4億3,223万円	3億6,145万円	◎
	資本的収支	1億 250万円	1億6,205万円	
下水道事業	収益的収支	16億7,030万円	16億1,003万円	◎
	資本的収支	7億9,828万円	13億1,169万円	
水道事業	収益的収支	16億 48万円	15億5,119万円	◎
	資本的収支	2億6,625万円	9億3,937万円	

歳入決算は、自主財源では、ふるさと伊東応援寄附金の増加により寄附金が対前年度比三八・九%、繰越金が六七・七%上回ったものの、大きな比重を占める市税が前年度収入額を三・一%下回ったことから、自主財源全体では、対前年度比二・五%の減となった。依存財源では、特別定額給付金給付事業の完了や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の縮減などにより、対前年度比で

一五・三%減少した。歳出決算では、経常経費において、扶助費が三一・二%、物件費が八・一%増加したものの、特別定額給付金給付事業の完了などにより補助費が六五・四%、定年退職者の減などにより人件費が五・五%、それぞれ対前年度比で減少した。投資的経費は、普通建設事業において、市民運動場人工芝生化学業などを実施したこと、対前年度比で一八・一%増加した。また、新型コロナウイルス感染症による市内経済の

落ち込みを防ぐため、伊東温泉宿泊推進事業や経済変動対策資金貸付金利子補給などを実施し、事業者支援、雇用維持に引き続き努めた。

本市の財政状況

職員の人件費を含む全ての事務事業の見直しなど、一貫して継続してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保していることから、健全化判断比率などの財政指標も含め、その健全性は維持できていると判断している。

これまで「有言実行!!みんな」とともに「を基本理念に、「伊東の魅力を発信し、文化を高め、観光の振興と産業の育成によって、みんなが夢を形にできる未来を拓く」施策の推進に邁進してきた。いまだ新型コロナウイルス感染症の終息は見えない状況ではあるが、今後も「新しい伊東スタイル」の構築に向け、市民のため、本市の発展に努めていく。

本会議で行われた討論の概要

※登壇順に掲載しています。

市議第一四号

《反対》日本共産党

国はデジタル法の施行に際し、行政目的外の使用を厳しく制限している自治体の個人情報保護条例を廃止する。その背景には個人データの活用による国の成長戦略があり、個人情報保護法では、個人の権利利益を侵害しないという規制が弱く、情報の漏洩や悪質な商売など、国民の不利益が心配されるため、反対する。

市議第二〇号

《反対》日本共産党

既に国は一兆八〇〇億円もの予算で特典を付与し、マイナンバーカードの普及を進めている。健康保険証や銀行口座も合わせて登録すればさらに特典がつくが、個人情報目的の外国利用につながる危険性も考えられる。さらなる特権の付与ではなく、政策への理解と情報の保護に国民の信頼を得ることが先決と考え反対する。

会派構成は12ページをご覧ください

市議第一六号

《反対》石島茂雄

伊東市民病院の特定初診料再診料の値上げに関する条例に反対する。政府のコロナ対策等の失敗の補填を、ただでさえ経済状況が破綻寸前の市民に押し付けることは言語道断。さらにそれを特定初診料特定再診料値上げに求めるなど蛮行とも言える。ゆえに赤字等は政府が貨幣を発行し財政出動して充当すべきものである。

《賛成》日本共産党

かかりつけ医を持つことは重要であり、すでに市民病院の初診は七二・三%が紹介状持参であるが、七〇〇〇円への値上げは法外で市民の理解は得られ難い。国の診療報酬の改定でやむを得ないが、地域医療支援病院ゆえの値上げであり、その指定の役目を果たす医療体制なのか検証と充実への要望を求め賛成とする。

市認第五号

令和三年度伊東市

一般会計歳入歳出決算

《賛成》正風クラブ

健康福祉については市民健康づくり推進事業、母子保健事業、地域少子化対策強化事業、障害者自立支援事業等において、長期化するコロナ禍でも感染状況を注視しながら運営に工夫を凝らし、希望者のサービスを限定しながら利用機会を確保することで、健康福祉を守り事業所への支援を行ってきたことを評価する。

《賛成》公明党

市税の減少幅が予測よりも抑えられ、このタイミングでの前年度見送った市民運動場人工芝生化事業の遂行は長年の市民の要望を形にする一番の好機であった。また、長引くコロナとの闘いの中、ワクチン接種体制の構築への尽力をはじめパランスを取りながら事業を推進していただいたことに感謝し、本決算を認定する。

《賛成》日本共産党

令和三年度予算には反対

をしたが、補正予算などで移住や交流人口増の施策も実施され、移住にも成果があり、通級指導教室の拡充や学童クラブの新設など教育分野でも市民要望が反映された。コロナ禍で疲弊した市内経済を回復させる観光や商店街の振興施策には、さらなる抜本的な施策の必要性を指摘し、賛成とする。

《賛成》無党派 颯

コロナ禍の影響で市内経済は窮地に追い込まれたが、令和三年度における本市一般会計決算は地方交付税等の大幅な増額や収入率の増加などで、財政の硬直化に改善が見られた。一方、自主財源や依存財源も前年度比減少で不安要因もあり、今後の見通しがいまだ不透明である中、さらなる強固な自治体運営が求められる。



メールマガジン 配信のお知らせ

いとう市議会だより発刊のお知らせを、伊東市メールマガジン(メルマガ)で配信しています。ぜひご登録ください。



# 決算大綱質疑



動画はこちら

## 5会派及び会派に所属していない1議員が質疑しました

～決算概要説明及び各会計決算に係る議案について～

(文面の掲載量は、会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は12ページをご覧ください。)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。



正風クラブ  
さとうしげふみ  
(佐藤周議員)

新図書館建設事業及び今後の学校統廃合等を見据える中で、市債残高の推移について伺う

**市長**  
令和六年度末をピークに、その後、残高は減少していくと考えている

令和三年度の市債は、市民運動場人工芝生化事業等の実施及び臨時財政対策債が前年度と比較し増加したことなどにより、二五億九六七万八〇〇〇円で決算しており、令和三年度末時点の市債残高は、二五六億一八二二万五〇〇〇円となった。

今後の市債の推移については、令和四年度末には臨時財政対策債の大幅な減少により約二四六億となる見込みであるが、今後、新図

書館建設事業の実施により、令和六年度末には再度、二五六億程度まで増加した後、順次償還が進むことで残高は減少すると考えている。

また、具体化していない大規模事業や、現有施設の大規模改修等が控えており、それらの事業実施に当たり、市債残高の増加が想定されることから、将来負担が過大とならないよう、年度間の事業費の平準化を図るとともに、基金等の財源も活用するなど、これまで以上に、バランスを考慮した財政運営に努めていく必要があると考えている。

**市長**  
コロナ禍が長期化する中、障害者自立支援事業を行う各事業所のサービス利用者との施設職員への影響に対する考えを伺う

共生社会の実現を目指して、関係機関と連携しながら、障害福祉サービスの提供体制の維持及び向上に努める

令和三年度の障害者自立支援事業の運営に当たっては、コロナ禍の影響が長期化する中、前年度に続き、感染予防対策等により大きな負担があり、また、様々な行事が中止になるなど、利用者及び事業所職員等にとって苦勞が多かったと認識している。

障害福祉サービス事業所では、感染防止マニュアルを作成して、利用者及び職員の体調管理及び感染予防対策を講じたほか、職員のプライベートでの行動制限を行ってきた事業所も多いと聞いており、市も障害福祉サービス事業所に対し、相談や助言を行い運営の支援に努めた。

いまだに新型コロナウイルス感染症の影響による様々な制約や負担はあるが、共生社会の実現を目指して、関係機関と連携しながら、障害福祉サービスの提供体制の維持及び向上に努める。『その他の質疑』二八項目



公明党  
しほらみこ  
(篠原峰子議員)

はじめよう！T.O新生活応援事業の利用実績について伺う

**市長**  
令和三年度末までに七一人が制度を利用した

本事業は、市外から市内の医療、福祉関係事業所に就職した有資格者に対し、経済的な支援を行う本市独自の施策である。令和三年度末までに、計七一人が制度を利用しており、これまでの利用実績については、奨学金返済助成の利用が二万件で、平均助成額は一人当たり月額一万五〇〇〇円、家賃助成が四万件で平均一万九〇〇〇円、転居費助成が六七件で平均二五万九〇〇〇円、子供一人当たり月額三万円の養育費支援は、現在、一二人の子供が対象となっている。

家庭児童相談事業における虐待相談件数の近年の状況及び今後の課題を伺う

市長

コロナ禍により相談件数は増加したものの、重大な事案は認められていない

相談件数の推移として、

令和元年度以前は毎年二〇から三〇件程度で推移し、令和二年度はコロナ禍によるストレスや不安などから大きく増加したが、令和三年度については、以前の生活に戻りつつある状況からか前年度から三〇件減少の五三件であった。

この二年間で相談件数は増加したものの、重大な事案は認められていないため、引き続き、関係機関と連携し適切な対応に努めるとともに、要保護児童対策に関する啓発を積極的に行い、気軽に相談や通報ができる体制の強化に努める。

『その他の質疑』一二項目



清和会  
すずもとかずや  
(杉本憲也議員)

一般会計歳入の寄附金について、寄附者の概要を伺う

市長

社会的に問題のない団体であることを確認した上で、民間企業、団体、個人から寄附を受けている

寄附者の概要としては、ふるさと伊東応援寄附金の個人版ふるさと納税において七九六四人、企業版ふるさと納税において、民間企業一社から寄附を受けた。また、新型コロナウイルス対策への寄附金や県営経営体育成基盤整備事業寄附金、教育費寄附金、福祉及び教育分野の基金に対する寄附金として、社会的に問題ない者からの寄附であることを確認した上で、民間企業、団体、個人から受領している状況である。

受け入れた寄附金が寄附者の意向に沿った使途となっていることを明らかにするための取組について伺う

市長

寄附金の使途についてホームページへ掲載、寄附報告書を用い記録を残すなどの取組を行っている

個人版のふるさと納税については、寄附申込み時に八つの事業のうちから、寄附金の活用希望の事業を選択する形式で寄附をいただいております。翌年度の該当する事業費の財源として活用している。その後、当該年度の決算が確定した後に、市ホームページに各項目の寄附金額や主な活用事業を掲載している。また、基金等への寄附の場合は、受領する際に寄附者の意向を確認し、寄附報告書へ記録を残すなど、意向に沿った活用ができるよう取組を行っている。

『その他の質疑』一三項目



日本共産党  
しげおかひでこ  
(重岡秀子議員)

繰入金財源となった医療施設設置基金等の取り崩し分の使途について伺う

市長

医療従事者確保対策事業交付金及び医療機器等整備負担金にそれぞれ二〇〇万円を充当した

令和三年度の病院事業会計に対する一般会計からの繰入金のうち、医療施設設置等基金を取り崩した額は四〇〇〇万円となっている。その使途については、看護師等を対象とした奨学金事業及び就業環境の向上を目的とした保育所運営事業に対する医療従事者確保対策事業交付金に対して二〇〇万円を充当した。

また、電子カルテやエックス線撮影装置の更新を行った医療機器等整備負担

金に対しても二〇〇〇万円を充当した。

『その他の質疑』 四項目



無党派 颯  
たくほまき  
(田久保真紀議員)

経常収支比率の改善要因について伺う

市長

歳入における経常一般財源が大きく増加したことにより比率は減少した

経常収支比率は、歳入における経常的収入のうち一般財源の総額のうち、歳出における経常的経費に充当した一般財源の総額が占める割合を算出したもので、比率が低いほど財政構造の弾力性が大きく、柔軟性があることを示しており、令和三年度は昨年度から七・三ポイント減少し、八三・一％であった。比率が減少した要因とし

ては、歳入において、地方消費税交付金、普通交付税、臨時財政対策債の借入額などが増額となり、歳出側も昨年度に比べ増額があったものの、歳入側の増額の方が大きかったことから、比率が減少した。

『その他の質疑』 三項目



いししましげお  
石島茂雄議員  
(会派に所属していない)

学校給食における本市の地産地消の取組及び今後の見通しについて伺う

市長

地産地消推進事業を創設し、地元産食材を市内全学校の給食に提供している。今後、学校給食を通じて地産地消を積極的に進めるとともに、地元産の安全な食材をより多く提供できるように引き続き努める。

『その他の質疑』 三項目

# 一 般 質 問



動画はこちら

## 14議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、演壇にはアクリル板を設置してあります。

タブレット端末を活用したオンライン授業の導入について、本市の考えを伺う



すずき あやこ  
鈴木絢子議員  
(正風クラブ)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、自宅療養等の児童・生徒が増えており、自宅での学習支援の充実に向けた要望の声が上がっている中、タブレット端末を活用したオンライン授業の導入について本市の考えを伺う。

教育長

様々な面から検討を重ねていきたいと考えている

オンライン授業の実施には、対象の児童・生徒が全ての機器を持ち帰り、家庭でのインターネットへの接続が重要な条件であると考えている。今後、オンライン授業の有効性や家庭での接続環境などを把握するとともに課題となっている教

職員の負担等も含め、様々な面から検討を重ねる中で、可能性を探りたいと考えている。

『その他の質問』 六項目



なかじまひろみち  
中島弘道議員  
(自民・維新の会)

今後の小・中学校の規模及び配置の適正化計画を伺う

現在、小学校三校の統合準備が進みつつある中で、今後の小・中学校の規模及び配置の適正化計画の検討スケジュール及び内容について伺う。

教育長

児童・生徒数や校舎の老朽化等を考慮し、学校統合等について検討を進める

児童・生徒数は減少の一途をたどっており、学校の小規模化が進行するとともに、学校間の規模の格差が顕著となるなど、今後様々な面に影響を及ぼすことが

懸念されている。子供たちに対して将来にわたり、よりよい教育を提供できるように、今後の学校統合については、児童・生徒数の推移を十分に見極めるとともに、校舎の老朽化についても考慮する中で、「伊東市立小・中学校の規模及び配置の適正化に向けた基本方針」に基づき、令和五年以降、検討を進めていくこととしている。

『その他の質問』 一〇項目



ながさわまさひろ  
長沢正議員  
(公明党)

不登校児童・生徒の現状及び支援体制について伺うとともに、不登校特例校についての見解を伺う

子供が安心・安全に学校へ通い、仲間と共に自分の持っている能力を伸ばしていくことが重要であると考えていることから、本市における不登校児童・生徒の

現状及び支援体制について伺うとともに、不登校特例校についての見解を伺う。

**教育長**

児童・生徒の不登校が解消できるよう努める

令和四年度の不登校相当の児童・生徒の出現率は前年度と比較して小・中学校ともに微増となっており、不登校特例校を設置した場合は、不登校の改善が見られる一方、人手不足等の課題があると認識している。本市としては、不登校が解消できるよう担任等から家庭等へ連絡を取るほか、教育支援センター及び適応指導教室での支援充実を図りたいと考えている。

『その他の質問』 四項目



なかだ よしまさ  
仲田佳正議員  
(正風クラブ)

通学路合同点検等で指摘のあった箇所への対応を伺う

登下校中の児童・生徒が被害に遭う交通事故等は依然として無くなることはなく、国においても通学路の安全確保について推進や取組方法を発表している経緯がある。そこで、安全対策として、通学路合同点検等で指摘のあった箇所について、その対応を伺う。

**教育長**

交差点等の歩行者待機スペースの整備を行った

通学路合同点検では、学校から報告された危険箇所に対し、関係機関で実際に確認、点検を行い、それぞれの立場で計画的に対策を講じることが必要であると考えている。具体的な対策事例としては、殿山交差点付近や阿原田踏切等において歩行者の待機場所の整備等を行っており、今後においても通学路の安全性を高めるため、対策を施していく。

『その他の質問』 七項目



しのみや かずひこ  
四宮和彦議員  
(清和会)

地方自治法に違反した事務処理は、どのような手続でいかなる機関が認定し違反が確定となるか伺う

令和四年六月定例会の一般質問において、伊東マリントンタウン横のマンタの壁画画について、掲出当初から静岡県屋外広告物条例に違反していた旨の市長答弁があったが、地方自治法第二条第一六項には、市は県の条例に違反してその事務を処理してはならないことが規定されていることから、その違反は、どのような手続でいかなる機関が認定し確定するのか伺う。

**市長**

監督官庁からは正勧告等を発せられた場合等に確定すると認識している

同項に違反して事務処理

を行い、当該事務処理の監督官庁からは是正勧告等を発せられた場合や、各種訴訟判決において違反が認定された場合などに違反が確定するものと認識している。

『その他の質問』 二項目



あおき けいいち  
青木敬博議員  
(正風クラブ)

日本の首都圏で英語によるユーチューブ広告を打ってはいかがか

本市ではインバウンド戦略として、世界向けデジタル広告を発信しているが、首都圏に在留しているアメリカ人等の外国人をターゲットに、英語によるユーチューブ広告を打ってはいかがか。

**市長**

即効性のある施策であると考えられるため、配信を検討していく

これまで実施してきたユーチューブ広告の視聴者データを分析する中で、欧米諸国は費用対効果の面で優位性が低いと判断し、令和二年度以降の配信先には含めていない。しかし、首都圏在住の英語を公用語とする外国人をターゲットに、動画広告を配信し、本市への来訪意欲を高め、呼び込むことは、即効性のある施策であると考えられることから、配信について検討していく。

『その他の質問』 五項目



さとう りゅうひこ  
佐藤龍彦議員  
(日本共産党)

難聴者の補聴器購入に対する助成を検討する考えはないか伺う

高齢者の難聴への対策として、補聴器の装用が効果的であると考えているものの購入費用が高額であるこ

とから、補聴器購入に対する助成を検討する考えはないか伺うとともに、難聴者の実態について伺う。

**市長**

補聴器購入への助成については、他市での実施状況及び効果を調査して検討を進める

本市における難聴者については、要介護認定の調査において、令和三年度末で五四五人となっている。今後、団塊の世代が後期高齢者へ移行していく中、認知症高齢者も増加していることから、補聴器購入への助成については、他市での実施状況や効果を調査して検討を進める。

『その他の質問』 三項目



すぎもとかずひこ  
杉本一彦議員  
(自民・維新の会)

伊東市民病院での薬剤師による向精神薬窃取に係る立入検査について伺う

令和二年二月に伊東市民病院において、薬剤師による向精神薬の窃取を受け、静岡県及び熱海保健所による臨時の立入検査が実施されたことについて、その原因を伺う。

**市長**

令和二年一月二三日に窃取が発覚し、県知事に対し向精神薬事故届などの提出後、立入検査の実施となった

伊東市民病院職員である薬剤師による第三種向精神薬の窃取が令和二年一月二三日に発覚したため、病院から市への報告とともに、県知事への向精神薬事故届、伊東警察署への被害届の提出により、立入検査の実施となった。

なお、警察の捜査中であったことや当該職員の精神状態等を考慮し、公表は差し控えるという病院の判断を了承した。

『その他の質問』 九項目



とろいやすこ  
烏居康子議員  
(公明党)

性的少数者のカップルの関係を公的に認めるパートナーシップ制度導入の考えを伺う

LGBTなど性的少数者のカップルに対して公的な証明書を発行することで、様々なサービス等を受けやすくなるパートナーシップ制度を導入する自治体が増えていることから、本市での制度導入の考えを伺う。

**市長**

県の制度開始に合わせ広報を行い、宣誓した方々の行政サービスの利用が進むよう取り組む

今年度中に静岡県がパートナーシップ宣言制度の開始を予定しており、県下で統一的な公的サービスの提供を目指して、各市町で対象となる行政サービス等の洗い出しを行っている。本

市も、誰もが理解し合える共生社会の実現を目指し、県の制度開始に合わせて広報を行い、宣誓した方々の行政サービスの利用が進むよう取り組む。

『その他の質問』 四項目



すぎもとかずや  
杉本憲也議員  
(清和会)

観光及び観光業の定義についての見解と、どのような産業を指すのかを伺う

観光業は日本の産業分類には存在せず、法令にも定義がない。計画や施策を立案する際、用語の定義を明確化することは、重要であると考えることから、観光及び観光業の定義に対する本市の見解を伺うとともに、具体的にどのような産業を指しているか伺う。

**市長**

観光とは休息や楽しみを目的とする旅行全般を指す

観光とは、余暇時間の中で、日常生活圏を離れて行う様々な活動であって、触れ合い、学び、遊び、休息や楽しみを目的とする旅行全般であると認識している。観光業については、宿泊業をはじめ、鉄道、バスなどの運輸業のほか、土産物店等の小売店や製造業、飲食業、娯楽・レジャー産業などの多岐にわたる業種が本市の観光に関わっているものと認識している。

『その他の質問』 七項目



あさだ よしひろ  
浅田良弘議員  
(無党派 嬢)

妊婦の産後の体調不良に対する支援についての考えを伺う

本市がこれまで産後ケアにきめ細かい支援をしていることは承知しているものの、産後の体調不良に苦しむ声も上がっていることから、さらなる支援としての

医療費負担軽減の必要性について、本市の考えを伺う。

**市長** 様々な課題があることから、今後、慎重に検討する

妊産婦への支援として健診・検査費用等の助成を行うほか、産前・産後サポート事業を実施しており、体調不良に対する支援についても、予防を含めた様々な事業を実施している。

体調不良の原因は妊娠・出産以外の疾病等も考えられ、因果関係の判別が難しいことや妊娠・出産の有無により医療費負担が異なることは、公平性の点においても課題があることから、今後、慎重に検討する。

『その他の質問』 四項目



しげおかひでこ  
重岡秀子議員  
(日本共産党)

新図書館の運営方法の決定過程について伺う

建設計画が進んでいる新図書館の運営方法について、市による直営方式とするか指定管理者制度による運営とするかについて、どのような過程で決定されるのか伺う。

**市長** 条例の一部改正に係るパブリックコメントを実施した上で運営方法決定への手続を進める

新図書館の運営方法については、これまでに、地域タウンミーティングや基本計画・基本設計でのパブリックコメントを実施するとともに、今年度は、これまでに教育委員会定例会や社会教育委員会等においても説明を行い、様々なご意見を伺ってきたところである。

今後については、これまでのご意見を踏まえ、条例の一部改正に係るパブリックコメントを実施した上で、運営方法決定への手続を進めていく。

『その他の質問』 五項目



た く ぼ ま き  
田久保真紀議員  
(無党派 嬢)

空き店舗対策への本市における取組について伺う

コロナ禍において閉店した店舗は再開が難しく、空き店舗の問題はますます深刻化している。町の活性化を図る上では市の対策が不可欠と考えることから、空き店舗を減らすための取組について伺う。

**市長** 商店街関係者や商工会議所等と連携し推進したいと考えている

商店街活動の支援や起業支援及び空き店舗対策事業補助金による助成により、空き店舗の減少及び活性化を図っている。また、新たな取組として湯の花通り商店街が事業主体となり、商店街の活性化を目的として空き店舗等を借り上げ、出店希望者に低額で貸し出す

事業を九月から実施しており、今後も空き店舗の減少及び活性化に向けた取組について、商店街関係者や商工会議所等と連携し推進したいと考えている。

『その他の質問』 四項目



い し じ ま し げ お  
石島茂雄議員  
(会派に所属していない)

ポッチャ競技普及に係る今後の本市の取組を伺う

東京二〇二〇パラリンピック競技大会において金メダルを獲得された伊東市在住の杉村英孝選手の活躍は伊東市民に明るい希望を与えた。ポッチャといえは伊東と認知されるような取組をしてほしいという希望を込め、競技普及に係る取組を伺う。

**市長** 競技用品の貸出し等による普及啓発を図る

ポッチャ競技の市民への

普及啓発については、オリピック・パラリンピックの機運醸成のため、体験会などを開催するに当たり、令和元年度に、ポッチャボールセット等を購入し、現在はこれらの貸出しを行っている。

今後は、より多くの市民の皆様が競技に親しんでいただけるよう、貸出しについて広く周知するなど、取組を進めていく。

『その他の質問』 六項目  
寄付行為や挨拶状の禁止について

市内において、議員が次の行為を行うことは公職選挙法で禁止されています。ご理解とご協力をお願いいたします。

- 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候の挨拶状を出すこと
- 有料の挨拶広告を出すこと

■ 政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、寄附をすること  
※寄附には、お歳暮やお年賀なども含まれます。

# 常任委員会だより

～9月15日、16日に行なわれた常任委員会審査の中から、一部を抜粋～

各委員会要点記録はこちら



## 総務委員会

**問** コンビニエンスストアにおいて、マイナンバーカードを利用し住民票や戸籍等の各種証明書を取得する、いわゆるコンビニ交付の手数料について、1通当たり100円の減額とした理由及び今後のマイナンバーカード普及促進策について伺う。

**答** コンビニ交付における1通当たりの経費は担保した上で、利用される方に分かりやすい金額として設定したものである。

今後の普及促進のためには、申請や受け取りの際の煩雑さへの抵抗感、情報漏洩への不安感を解消していくことが必要だと考えており、行政書士会の協力を得た相談会や、職員が出張所や市内事業所等に出向いて行う申請サポートを実施するとともに、病歴や預金残高等のプライバシー性の高い情報は記録されていないことなど、マイナンバーカードの安全性について広く周知していきたい。



マイナンバーカード、もう申請しましたか？

## 観光建設委員会

**問** 地域の稼げる看板商品創出事業で開発を予定している商品及び今後の展望について伺う。

**答** 令和2年度から積極的にロケツーリズムに取り組んだことにより、市内での映画やドラマ等の撮影が増加しているため、ロケ地となった場所を巡るモニターツアー等の実施を予定している。

今回は試験的な実施となるが、今後は継続的に利用ができる旅行商品となるよう、ロケツーリズム推進事業と連携して、旅行代理店に売り込むことを検討している。

**問** 有害鳥獣被害への対策について伺う。

**答** 山や畑での捕獲については、熱海市と連携しイノシシ、鹿等を捕獲した際に捕獲報奨金を支出する有害鳥獣対策協議会事業を実施している。民家周辺の出没については、市の職員が直接対応に当たっている。



畑に侵入して農作物を荒らすイノシシ

## 福祉文教委員会

**問** 幼稚園におけるデリバリー給食実施の経緯を伺う。

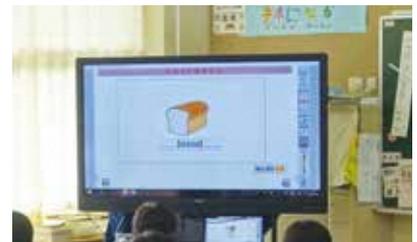
**答** 幼稚園における給食の実施については、以前から、保護者から要望が挙がっているほか、市長公約としても掲げられている中で、子育て世帯の負担軽減につながることから、実施を決定したものである。

また、実施に際し、物価高騰等に対する、子育て世帯への負担軽減策として、令和4年度中の給食費を無償とする予定である。

**問** 教育現場におけるICTの活用状況を伺う。

**答** ICT機器の利点を生かす中で、児童・生徒とのコミュニケーションが失われないよう、各教員が工夫を凝らしながら、プログラミング教育が実施されている算数等の教科を筆頭に、全教科で効果的に活用が進められている。

今後も、さらなる効果的な活用を進めていきたい。



電子黒板など、様々な場面でICT機器が導入されている



# 議場見学

10月13日に  
富戸小3年生が  
議場見学をしました



## 12月定例会の予定

### 11月30日(水) 開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。  
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

## 閉会中の議会活動

令和4年6月定例会閉会から  
令和4年9月定例会開会まで

- 6月29日 常任福祉文教委員会協議会
- 6月30日 議会活動活性化協議会
- 7月12、13日 諏訪・伊東姉妹都市議会議員交歓研修会
- 8月 1日 議会報編集委員会
- 8月 3日 常任観光建設委員会協議会
- 8月24日 議会運営委員会
- 8月29日 議会活動活性化協議会



## 市議会内の会派構成

(令和四年二月一日現在)

### ■正風クラブ

仲田 佳正 議員

鈴木 絢子 議員

宮崎 雅薫 議員

◎青木 敬博 議員

佐藤 周 議員

### ■公明党

鳥居 康子 議員

篠原 峰子 議員

◎長沢 正 議員

### ■清和会

四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

◎井戸 清司 議員

### ■自民・維新の会

大川 勝弘 議員

中島 弘道 議員

◎杉本 一彦 議員

### ■日本共産党

佐藤 龍彦 議員

◎重岡 秀子 議員

### ■無党派

田久保眞紀 議員

◎浅田 良弘 議員

### ■会派に所属していない

石島 茂雄 議員

(◎) 会派代表者、

会派構成議員は議席順)

## 編集後記

関東圏の広範囲に甚大な被害をもたらした関東大震災にちなみ、九月一日は「防災の日」に制定されました。伊東市にも津波が押し寄せ、宇佐美留田にある行運寺に津波到達地点を記す石碑があり、その凄まじさを物語っています。

また平成二三年の東日本大震災で発生した津波被害を受け、嘉永七年の安政南海地震に由来する一月五日は「津波防災の日」と制定されました。

地震や津波はいつ起こるか分かりませんが、過去の災害から学び備えることへの大切さを忘れないようにしたいですね。(佐藤龍彦)

### 議会報編集委員会

委員長 佐藤 龍彦

副委員長 杉本 憲也

委員 鈴木 絢子

篠原 峰子

中島 弘道

田久保眞紀

### 市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ